

産業建設常任委員会

日時 令和4年4月19日(火)

午前10時00分から

場所 現地及び全員協議会室

<現地視察> 午前10時00分から

(1) 鳥越調整場低区調整池

(2) (株)ジャパン・フラワー・コーポレーション「アグミライミズ」

(3) 都市計画道路駅前線・駅前広場

<委員会> 午後1時00分から

1 職員紹介

産業経済部 都市整備部 上下水道部

2 議題

(1) 令和4年度各部・課等の所管事項及び主要事業について

産業経済部・農業委員会 都市整備部 上下水道部

(2) 報告事項(4件)

「射水市道の駅周辺エリア基本構想」の対話(サウンディング)型市場調査の実施について (産業経済部 観光・定住課 資料1)

令和3年度ふるさと射水応援寄附(ふるさと納税)について

(産業経済部 農林水産課 資料1)

海王町市有地の民間活用に向けた事業者の公募について

(都市整備部 河川・港湾課 資料1)

令和4年度雨水事業について

(上下水道部 下水道工務課 資料1~4)

(3) その他

「射水市道の駅周辺エリア基本構想」の対話(サウンディング)型市場調査の実施について

1 経緯

道の駅周辺エリアの活性化に向け、今後の方針を整理した「射水市道の駅周辺エリア基本構想」を令和3年10月に策定している。この基本構想の実現に向け、既存施設のリニューアルや道の駅周辺エリアでの新たな事業展開の可能性等について、民間事業者から広く意見・提案を求めるため、対話(サウンディング)型市場調査を実施する。

2 対話(サウンディング)型市場調査について

対話(サウンディング)型市場調査とは、主に公共施設や市有地等の有効な活用方法を検討するに当たり、民間事業者から広く意見・提案を求め、「対話」を通じてアイデアの実現可能性や参入意欲、課題等を把握する市場調査の一手法である。

3 今後の予定

| | |
|---------------|--|
| R4.5月下旬 | 対話(サウンディング)型市場調査実施要領を公表 |
| 6月下旬 ~7月中旬 | 参加事業者説明会及び現地見学会を開催 |
| 7月下旬 ~8月上旬 | サウンディング(参加事業者との対話)実施 |
| 12月~ | 12月議会で対話(サウンディング)型市場調査の結果及び道の駅周辺エリアの今後の在り方を説明、事業者公募要項を公表 |
| R5.1月~ | 事業者を公募(公募型プロポーザル) |
| 3月~ | 優先交渉権者を決定 |

調査結果によっては、スケジュールを変更する可能性がある。

射水市道の駅周辺エリア基本構想(概要)

1 基本構想の目的

道の駅新湊は、平成10年9月にオープンし、年間約70万人が訪れる施設です。その一方で、施設の劣化が著しいことから、早急に修繕に取り組む必要があります。また、隣接する新湊博物館及び新湊農村環境改善センターにおいても、劣化や利用者の減少などの課題を抱えています。

このことから、本構想では、道の駅新湊とともに、新湊博物館及び新湊農村環境改善センターも含めた道の駅周辺エリアの今後の基本的な方針について整理します。

2 道の駅新湊周辺エリアの現状と課題

本構想での基本方針を検討するに当たり、はじめに、エリア内の各施設の現状と課題及び近隣施設・競合施設について分析・整理をしました。(本編 P.5~20)

次に、先ほどの分析からエリア全体における強み・弱みを洗い出した上で、エリアの課題を次のように整理しました。(本編 P.22)

道の駅周辺エリアの現状と課題

(現状)

- 【現状の強み】**
- ・年間70万人が訪れる道の駅
 - ・交通の要地にある優れた立地環境
 - ・新鮮で魅力的な食材が豊富にある
 - ・市内観光資源への良好なアクセス
 - ・十分な駐車場スペースを完備
 - ・災害時の「輸送拠点施設」に位置付け

- 【現状の弱み】**
- ・いずれの施設も大規模改修が必要
 - ・施設間の連携・回遊性に乏しい
 - ・国道(高架橋等)からの視認性が低い
 - ・射水ブランドをうまく発信できていない
 - ・中心部の芝生広場を活かせていない
 - ・宿泊機能がない(市域全体でも不足)
 - ・新湊博物館、新湊農村環境改善センターの利用者が減少傾向
 - ・多言語やバリアフリー対応等の遅れ

(課題)

- 施設の劣化
- ニーズの変化や新たなニーズへの対応が必要
- 道の駅新湊の集客力が活かされていない
- 現状の機能だけでは、来訪者の滞在時間の拡大につなげにくい
- 射水ブランド推進の場として十分に機能しているとはいえない
- 歴史・文化、観光情報などの魅力発信の場として活性化が必要
- インバウンド需要の取込みに向けた対応が必要
- 災害時に力を発揮できるためのきめ細やかな機能の充実が必要

3 基本方針

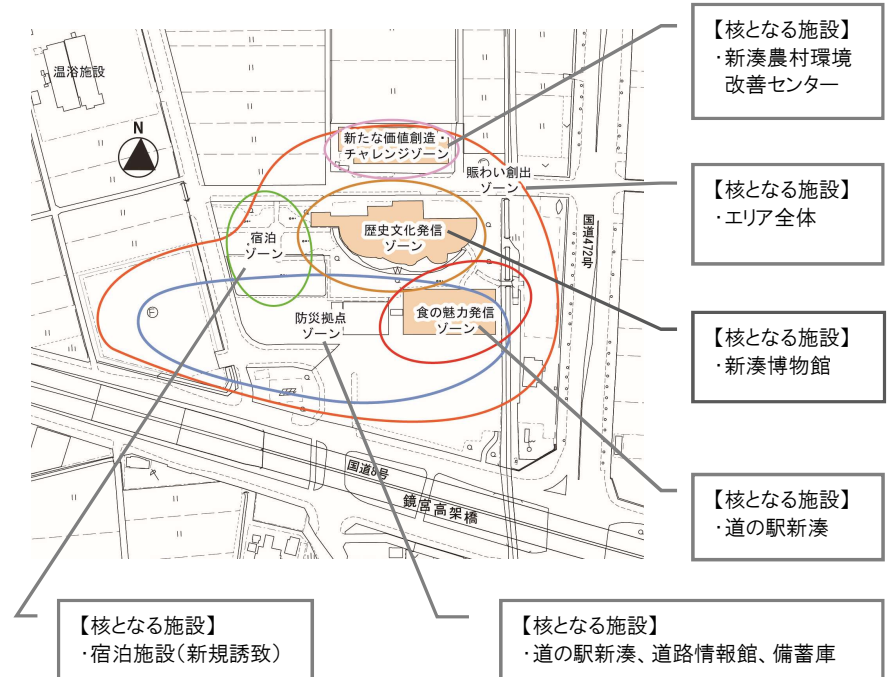
現状と課題を踏まえ、エリアが目指すべき基本方針を定めました。(本編 P.23~24)

| | |
|------|----------------------------------|
| 基本方針 | エリアの魅力を高め、滞在時間の拡大と更なる賑わいの創出を図る |
| | 射水ブランド推進の場として、地域経済への波及効果を高める |
| | 射水ベイエリア・内川周辺の玄関口として、周辺観光への誘導を図る |
| | 射水の歴史や文化芸術の集約と発信の場として、更なる磨き上げを図る |
| | 災害に強いまちづくりを進めるため、防災拠点としての機能を強化する |

4 ゾーンごとに求めるコンセプト

基本方針をより具体的に検討するため、目的ごとに、エリア内に6つのゾーンを設定しました(本編 P.25)

目的ごとの6つのゾーン



射水市道の駅周辺エリア基本構想(概要)

4 ゾーンごとに求めるコンセプト (前ページからのつづき)

それぞれのゾーンに求めるコンセプトを次のように整理しました。(本編 P.26～28)

食の魅力発信ゾーン

- 食べる
・レストラン等のレイアウトを大きく変更することで、ゆったりと落ち着いた上質な空間を演出します。また、射水産にこだわった厳選メニューを提供し、射水の美味しいもの(食の魅力)との出会いを創出します。
- 買う、楽しむ
・市の特産物の品揃えを充実させます。また、テストマーケティングの場を提供し、地元事業者等による商品開発や販路拡大を支援します。
- 休憩する
・芝生広場など周囲の景観を内部空間に取り込み、開放感のある雰囲気の中で、快適に休憩を取ることができる環境を整備します。
・バリアフリーやユニバーサルデザイン、プライベートに配慮した安心快適な空間となるよう整備します。
- 知る(情報を得る)
・ICT等の活用を想定し、映像や多言語対応による観光情報等の提供を検討します。
- 賑わう
・新たに道の駅新湊の周囲にキャンピアーを設置し、多様なイベントを開催できる全天候型スペースとして活用することを検討します。
・新湊博物館と駐車場との間を隔てる排水路の一部を暗渠化することで確保するスペースを、新たな賑わい空間とすることを検討します。

歴史文化発信ゾーン

- 学ぶ、伝える
・より楽しく、興味を持って鑑賞してもらえる環境を整えるため、展示資料等の充実を検討します。
・道の駅側からの視認性を高めるとともに、エリア内の動線の見直しを検討し、施設間の回遊性の向上を図ります。

新たな価値創造・チャレンジゾーン

- 創造する、挑戦する
・新湊農村環境改善センターは転用も視野に入れ、新たな賑わいと活力の創出の場とすることを検討します。その用途・機能及び管理運営形態については、民間活力の導入を目指します。また、今後の施設の在り方検討の中で、必要に応じて、敷地の拡大も検討します。

宿泊ゾーン

- 泊まる
・エリア内に宿泊施設を誘致することで、車で旅行を楽しむ層や訪日観光客の需要の取り込みを図ります。宿泊客が道の駅新湊や新湊博物館を訪れることで、エリア内での滞在時間拡大に繋げるとともに、宿泊施設と近隣施設との相乗効果により、新たな賑わい創出を図ります。

防災拠点

- 命を守る
・災害時における本市の「輸送拠点施設」として位置付けられており、引き続き、防災拠点としての機能を維持します。
・道の駅の周囲にキャンピアーを接続し、屋根付きの全天候型スペースとします。災害時の支援物資の集配や人員の参集等を円滑に進めるために活用します。

賑わい創出ゾーン

- 【エリア全体】
・新湊農村環境改善センターの在り方検討の結果、敷地を拡大することとなった場合には、周辺道路、芝生広場及び新湊博物館駐車場のレイアウトを見直し、駐車場の一部を屋根付き広場とし、全天候型の大型イベントスペースや地元食材を味わうことのできる店舗を配置することを検討します。
・エリア内の回遊性を高めるため、芝生広場に道の駅新湊、新湊農村環境改善センター及び宿泊施設を結ぶ、屋根付き回廊の設置を検討します。

5 事業スケジュール

事業スケジュールについては次のとおりとします。(本編 P.39～40)

※ 今後の検討の中でスケジュールが変動する場合があります。

【既存施設】 射水市公共施設個別施設計画の中で示した実施時期に基づき進めていきます。

【宿泊施設】 道の駅新湊のリニューアル改修が完了する令和7年頃までの開業を目指し、誘致に取り組んでいきます。

令和3年度ふるさと射水応援寄附(ふるさと納税)について

1 寄附額及び件数

表1

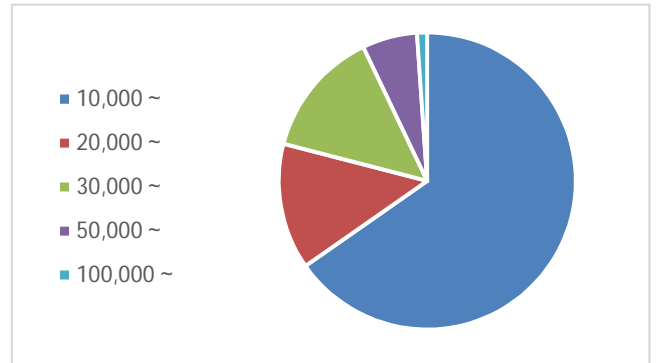
| | 令和3年度 | | | | 令和2年度 | |
|----|-------------|--------|-------|--------|-------------|-------|
| | 寄附額(円) | 前年度比 | 件数(件) | 前年度比 | 寄附額(円) | 件数(件) |
| 金額 | 231,639,000 | 113.0% | 9,676 | 120.5% | 205,030,000 | 8,029 |

2 金額別寄附件数及び割合

表2

| 金額(円) | 令和3年度 | | 令和2年度 | |
|-----------|-------|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| 10,000 ~ | 6,320 | 65.3% | 5,172 | 64.4% |
| 20,000 ~ | 1,326 | 13.7% | 839 | 10.4% |
| 30,000 ~ | 1,344 | 13.9% | 1,346 | 16.8% |
| 50,000 ~ | 578 | 6.0% | 459 | 5.7% |
| 100,000 ~ | 108 | 1.1% | 213 | 2.7% |
| 合計 | 9,676 | | 8,029 | |

図1

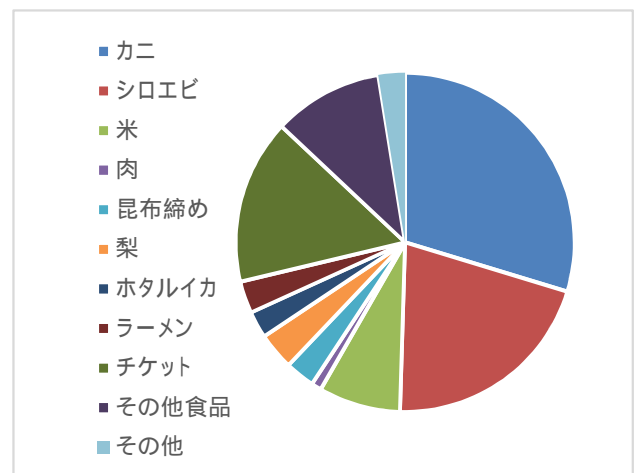


3 人気返礼品の選択傾向

表3

| 種別 | 令和3年度 | | 令和2年度 | |
|---------|--------|-------|-------|-------|
| | 件数 | 割合 | 件数 | 割合 |
| カニ | 3,222 | 29.7% | 3,378 | 37.4% |
| シロエビ | 2,257 | 20.8% | 1,745 | 19.3% |
| 米 | 847 | 7.8% | 710 | 7.9% |
| 肉 | 106 | 1.0% | 316 | 3.5% |
| 昆布締め | 305 | 2.8% | 347 | 3.8% |
| 梨 | 386 | 3.6% | 257 | 2.8% |
| ホタルイカ | 279 | 2.6% | 381 | 4.2% |
| ラーメン | 331 | 3.1% | 241 | 2.7% |
| チケット*1 | 1,708 | 15.7% | 164 | 1.8% |
| その他食品*2 | 1,135 | 10.4% | 1,156 | 12.9% |
| その他*3 | 275 | 2.5% | 335 | 3.7% |
| 合計 | 10,851 | | 9,030 | |

図2



*1... 日本橋やま館富山はま作特別コース、白えび漁見学宿泊パック、新湊観光船宿泊パック、コストコクーポンなど

*2... 醤油、干物、鱒ずし、菓子など

*3... キッチンナイフなど

4 返礼品の品目数

212(令和3年4月) 262(令和4年3月)

サクラマス寿司、シロエビクリームコロッケ、フラワープランター など

5 令和3年度取組状況

返礼品の追加・内容の見直しの結果、寄附件数及び寄附金額が増えた。TV放送でシロエビが取り上げられたことや、コストコクーポン券を選択する寄附者が増えたことで、10,000円～30,000円の寄附件数が増え、寄附金額も増額となった。

今後も、新たな特産品等を発掘し、事業者等と協議しながら魅力ある返礼品の拡充を図っていく。

海王町市有地の民間活用に向けた事業者の公募について

1 経緯と現況

当該市有地を含む海王町は、国際拠点港湾「伏木富山港」の中核をなす富山新港、年間100万人を超える観光客が訪れる海王丸パークに隣接し、射水ベイエリアの賑わい創出に高いポテンシャルを有した地区である。

本市としては、「射水みなとまちづくり方策」に基づき、レジャー・娯楽などの特色あるサービスを提供し、国内外に「射水」を発信するための拠点として、賑わいある交流空間の形成を目指すこととしており、今回、この趣旨にふさわしい事業を広く募集するものである。

2 対象物件の概要

(1) 事業名 射水市海王町地内市有地利活用事業

(2) 売却対象物件

| | | |
|------------|----------------------|---------------|
| 地番 | (1)射水市海王町21番7 外6筆 | (2)射水市海王町21番9 |
| 現況地目 | 宅地、一部雑種地 | 宅地 |
| 売却面積（登記面積） | 9,936.81㎡ | 2,836.49㎡ |
| 用途地域 | 第1種住居地域 | 準工業地域 |
| 建ぺい率／容積率 | 60％／300％ | 60％／300％ |

(3) 公募内容

市有地を活用して、「憩う」「集う」「賑わう」ことのできるレジャー・娯楽などの、特色あるサービスを継続的に提供することができる事業者を広く募集するもの。

(4) 事業計画提案上の留意事項

- ・射水ベイエリアの活性化、雇用及び交流人口の創出につなげるもの。
- ・事業活動によって周辺の土地利用にも影響を与え相乗効果を生み出すもの。

(5) 優先交渉権者の選定方法

事業者公募審査委員会を設置し、事業者によるプレゼンテーション及びヒアリングを行い、事業の内容や持続可能性及び物件購入価格等を審査の上、最も優れた提案内容の応募者を優先交渉権者として選定する。

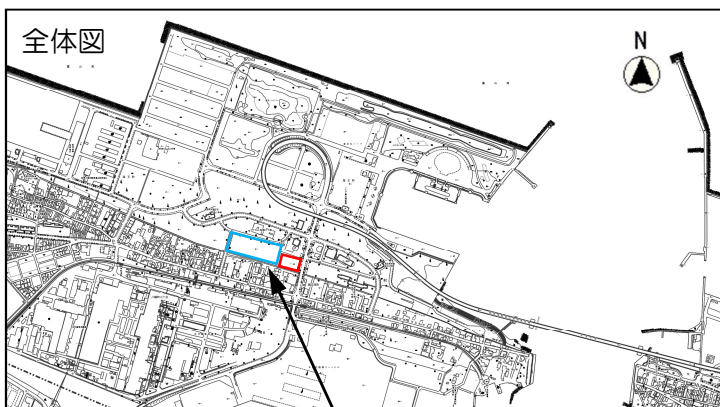
3 公募型プロポーザル実施スケジュール

| | |
|-------------|-------------------|
| 公募要項公表 | 令和4年5月上旬 |
| 提案書類の受付期間 | 令和4年5月下旬～令和4年7月下旬 |
| プレゼンテーション審査 | 令和4年8月中旬 |
| 優先交渉権者の選定 | 令和4年8月下旬 |
| 仮契約の締結 | 令和4年8月下旬 |

4 優先交渉権者選定後のスケジュール

| | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| 9月定例会 (優先交渉権者選定の報告) (土地売却議案の提出) | 令和4年9月 議会議決を得た日に 本契約に移行。 |
| 土地の所有権移転、土地の引渡し | 令和4年10月 |

5 利活用予定地



片口第1排水区雨水幹線整備事業

1. 事業概要

片口第1排水区は、土地区画整理事業による造成や集中豪雨の発生により、既存雨水渠の流下能力が不足し、床下浸水や道路冠水の被害が発生している。

このことから、当地区の雨水対策として、流下能力が著しく不足している管渠を改修し、浸水被害の軽減を図るものである。

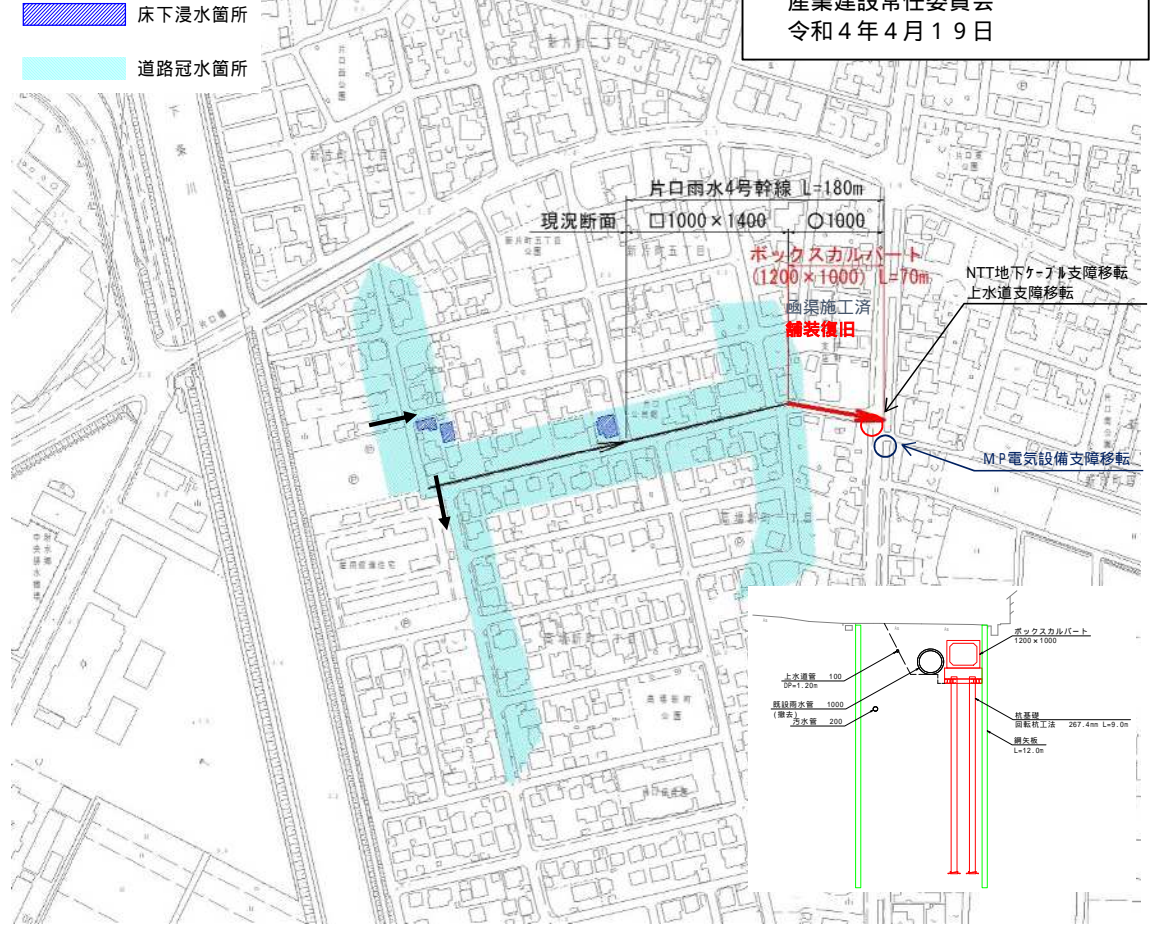
2. 平成20年8月16日の浸水被害状況(床下浸水3戸)



3. 計画概要

- ・排水区域面積 A = 14.75ha
- ・雨水函渠 L = 70m 1200 × 1000

4. 事業計画図



上下水道部 下水道工務課 資料1
産業建設常任委員会
令和4年4月19日

5. 事業計画 (工事予定: R2 ~ R4)

- ・平成30年度 委託(浸水対策実施設計(詳細設計)業務委託、測量業務委託)
函渠基礎杭工事
支障物件移転補償(上水道、架空線、NTT)
工損事前調査 N = 9棟
- ・令和2年度 MP電気設備支障移転工事
函渠布設工事 L = 20m
- ・令和3年度 函渠布設工事 L = 50m
支障物件移転補償(上水道)
支障物件移転補償(NTT地下ケーブル)
- ・令和4年度 **舗装本復旧工事**
工損事後調査 N = 9棟

枇杷首排水区雨水対策施設整備事業

上下水道部 下水道工務課 資料2
産業建設常任委員会
令和4年4月19日

1. 事業概要

枇杷首排水区は、平成24年7月21日の豪雨により、既存排水路の流下能力を超え、低地部において浸水被害(床上浸水 1戸、床下浸水 16戸、道路冠水)が発生している。

このことから、当地区の雨水対策として、マンホールポンプ施設及び導水管、送水管を整備し、浸水被害の軽減を図るものである。

2. 現況写真



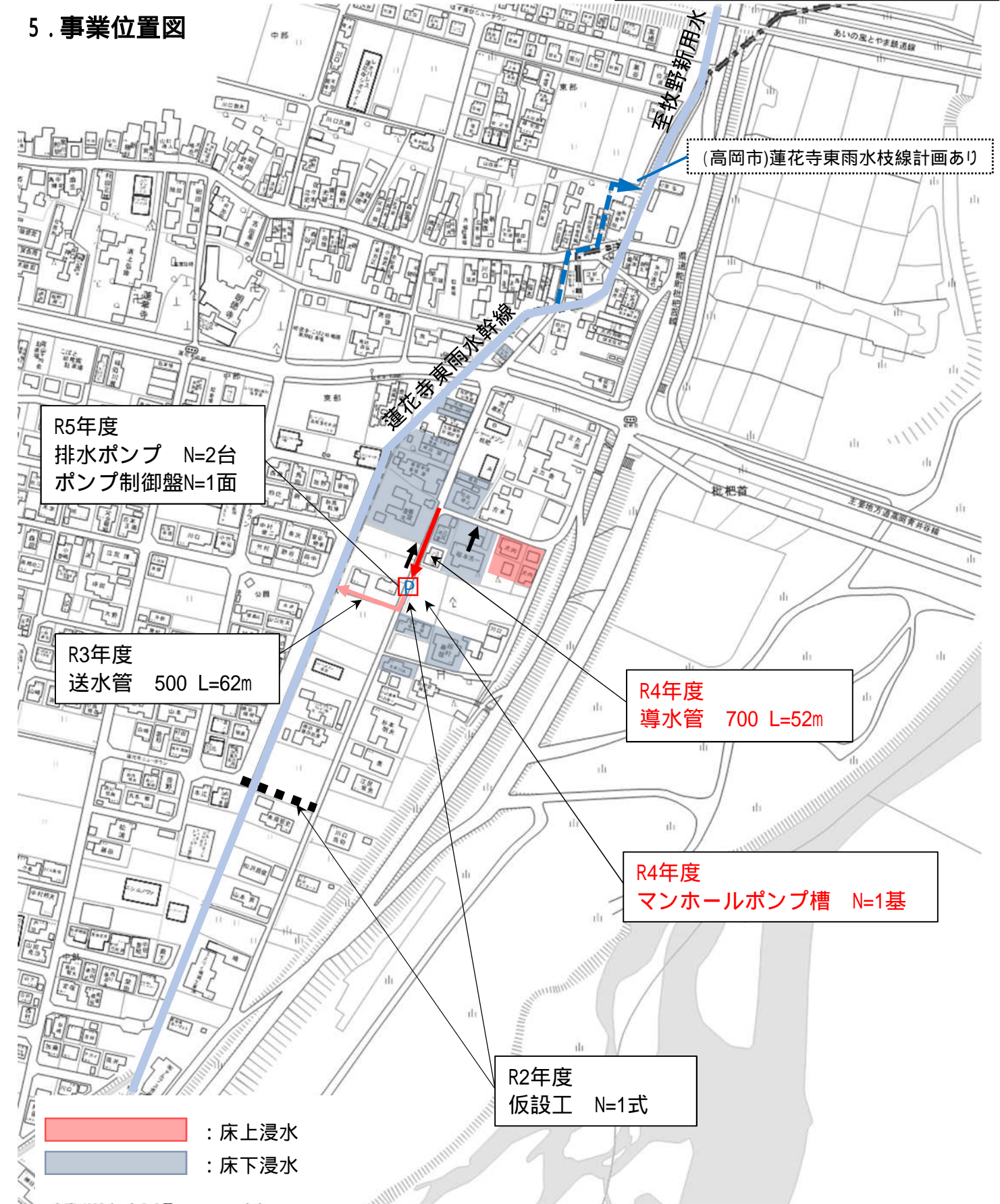
3. 計画概要

- ・排水区域面積 A = 6.0ha
- ・排水ポンプ N = 2台 (吐出量Q=32m³/分)
- ・ポンプ制御盤 N = 1面
- ・マンホールポンプ槽 N = 1基
- ・導水管延長 L = 52m (700)
- ・送水管延長 L = 62m (500)

4. 事業計画 (工事予定: R2 ~ R5)

- ・令和元年度 委託 (浸水対策実施設計業務委託)
委託 (工事損失事前調査業務委託)
- ・令和2年度 支障物件移転補償 (上水道管 (ポンプ槽部))
工事 (仮設工 N=1式)
- ・令和3年度 工事 (送水管 500 L=62m)
- ・令和4年度 工事 (マンホールポンプ槽N=1基、導水管 700 L=55m、舗装)
支障物件移転補償 (上水道管 (導水管・立坑)、北電、NTT、ICN)
委託 (工事損失事前調査業務委託)
委託 (特別調査業務委託)
- ・令和5年度 工事 (排水ポンプN=2台)
工事 (ポンプ制御盤N=1面)
工事 (舗装本復旧)
委託 (工事損失事後調査業務委託)

5. 事業位置図



小島排水区雨水対策施設整備事業

1. 事業概要

本排水区は、豪雨により浸水被害が度々発生している地区であり、最も被害が大きかった平成24年7月21日には、小島4区地内において、床下浸水 6戸及び道路冠水の被害が発生している。また、道路冠水時にはウォーターゲートを設置し、対応に当たっている。

このことから、当地区の雨水対策として、雨水対策施設の整備を行うものである。

2. 平成30年10月17日の浸水被害状況



3. 計画概要

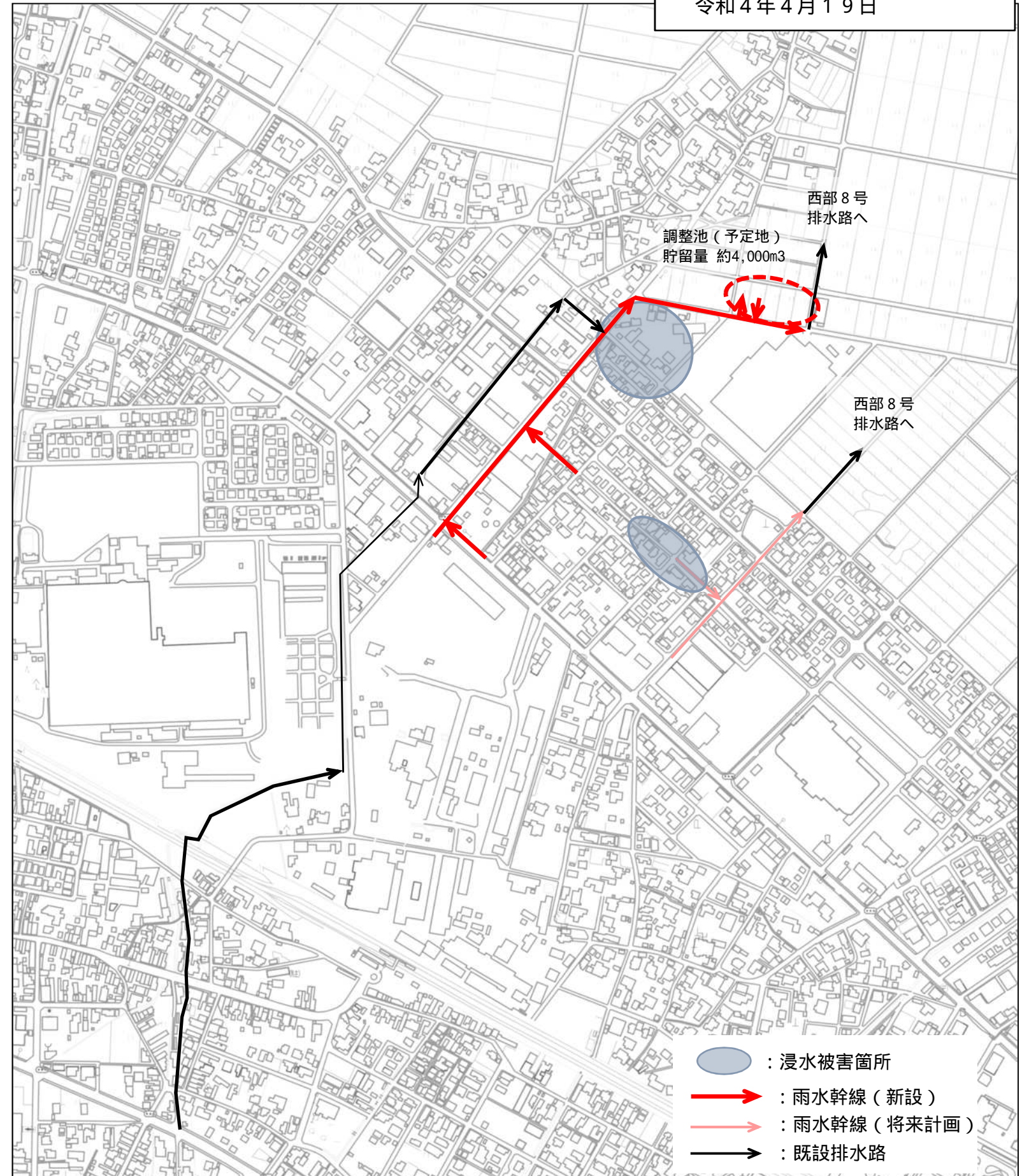
- ・排水区域面積 A = 34.94ha
- ・調整池
- ・雨水幹線

4. 事業計画 (工事予定: R5 ~)

- ・令和元年度 浸水対策実施設計(基本設計)業務委託
- ・令和2年度 下水道法事業計画変更業務委託
- ・令和3年度 下水道法事業計画の変更
- ・令和4年度 浸水対策実施設計(詳細設計)業務委託
- ・令和4年度 用地買収
- ・令和5年度 ~ 函渠工事・調整池工事

5. 事業位置図

上下水道部 下水道工務課 資料3
産業建設常任委員会
令和4年4月19日



作道第1排水区雨水対策施設整備事業

上下水道部 下水道工務課 資料4
産業建設常任委員会
令和4年4月19日

1. 事業概要

作道第1排水区は、平成15年9月1日、平成20年8月16日、平成24年7月21日に集中豪雨により、床下浸水や道路冠水の被害が発生している。

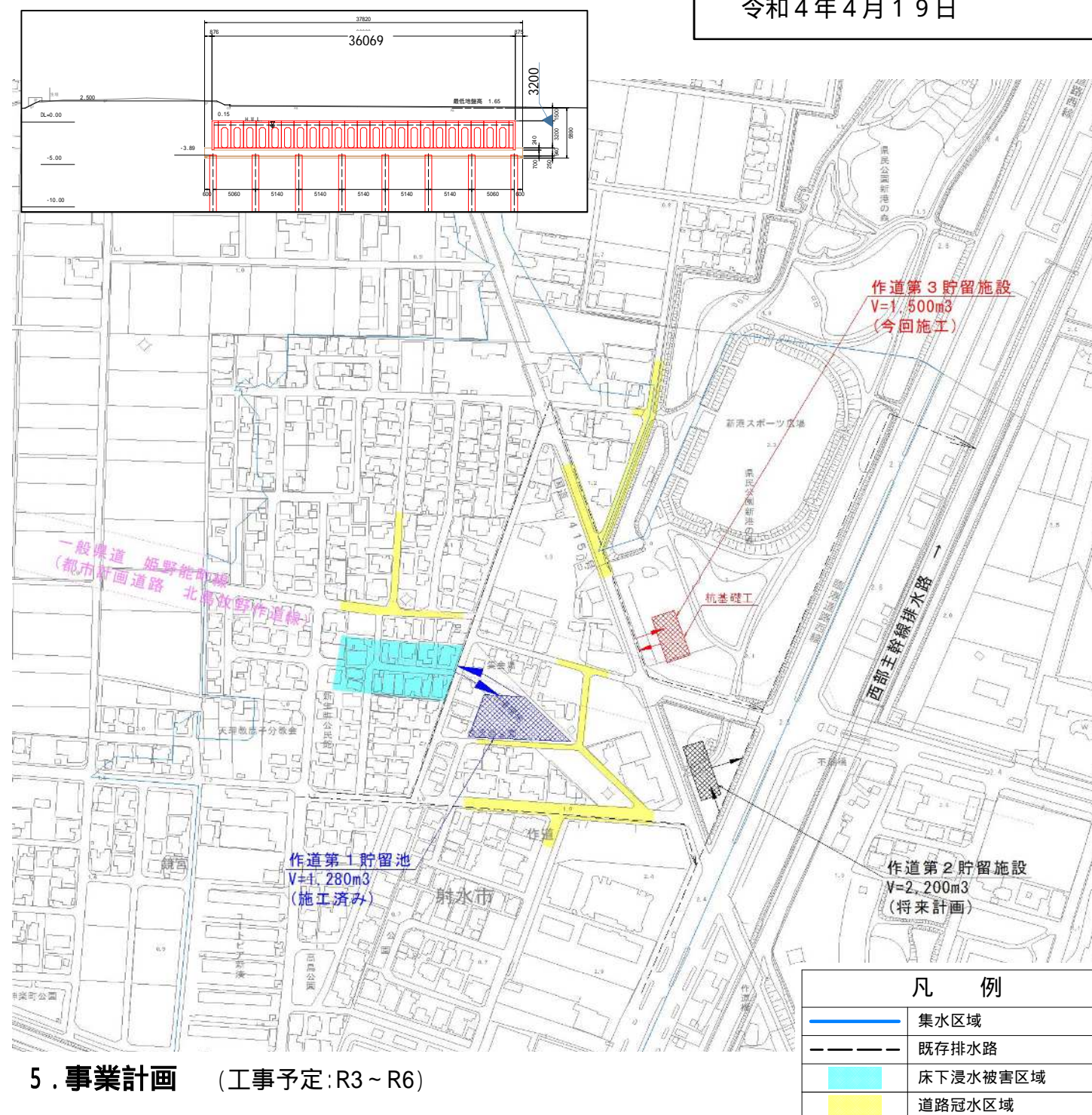
このことから、当地区の浸水対策として、既存排水路への雨水流出量を抑制するため、雨水を一時的に貯留する作道第1～第3貯留施設の計画のうち、作道第1貯留施設の雨水対策施設の整備を行った。

今回、床下浸水区域の被害軽減を図るため、**作道第3貯留施設**の整備を図る。

2. 平成24年7月21日の浸水被害状況(床下浸水7戸)



4. 事業計画図



5. 事業計画 (工事予定: R3 ~ R6)

- ・(第3貯留施設)
- ・平成30年度 浸水対策実施設計(詳細設計)業務委託
地質調査業務委託
- ・令和2年度 関係機関と調整協議
- ・令和3年度 関係機関との調整協議及び作業ヤード工(掘削・舗装)
- ・令和4年度 **杭基礎工(PHC 800、L=41m、N=32本)**
- ・令和5年度 貯留施設工、取水施設工、仮設工
- ・令和6年度 貯留施設工、流入施設、導水施設工、水門・ポンプ機械電気設備工

3. 計画概要

- ・排水区域面積 A=22.0ha
- ・雨水貯留池(新生町地内)
 - 作道第1貯留池(整備済み) V=1,280m3 掘込式
 - 作道第2貯留施設(将来計画) V=2,200m3 地下式
 - 作道第3貯留施設(今回整備) V=1,500m3 地下式**